

催行決定 紅葉の奥出雲 亀嵩温泉・玉峰山荘日帰りツアー ~今年は奥出雲和牛のすき焼きと今年とれた仁多米の釜炊きを楽しんでいただきます~

- 旅行費用 **ダブル料金**
- 会員 **8,500円** (一般料金 11,000円)
- 同居家族 (12歳以上) **9,500円** (一般料金 11,000円)
- 同居家族 (6歳~11歳) **8,500円** (一般料金 10,000円)
- 同居家族 (6歳未満) **無料** ※バス座席・食事なし
- 出発日 11/9(金)、17(土)
- 添乗員 同行します。
- 食事 昼1回(奥出雲満載会席)
- 利用バス会社 せとうちバス、広交観光、つばめ交通

●行程

日次	スケジュール
1	広島駅新幹線口 (11/9 7:30発) =====(やまなみ街道)===== (11/17 6:50発) 道の駅たかの====①鬼の舌震====②亀嵩温泉玉峰山荘(昼食・温泉入浴) =====③道の駅 酒蔵奥出雲交流会館====奥出雲おろちループ(車窓)==== =====舞茸奥出雲(舞茸の試食と買物)=====④山よりんご園===== =広島駅新幹線口 (11/9 18:50) (11/17 19:40)

- ①奥出雲の景勝地。渓谷沿いの遊歩道を散策します。
 ②昼食:奥出雲和牛のすき焼きと今年とれた仁多米の釜炊きをお楽しみください。
 温泉:湯上がりはつるつるになる美肌の湯として有名です。
 ③お酒・リキュールや、仁多米甘酒の試飲あり。
 ④園内はりんご食べ放題。りんご2個のお土産付き。
 詳しくは下記申込先までお問い合わせください。
 ●申込先 ひろでん中国新聞旅行 ☎082-543-2020 担当者:黒岩

カニ漁解禁の境港へ 境港水揚げの焼きカニ料理と冬の足立美術館特別展

- 旅行費用 **ダブル料金**
- 会員 **11,300円** (一般料金 13,800円)
- 同居家族 (12歳以上) **12,300円** (一般料金 13,800円)
- 同居家族 (6~11歳小学生) **9,300円** (一般料金 10,800円)
- 同居家族 (2~5歳未就学児) **5,300円** (一般料金 6,800円) ※座席のみ提供
- 出発日 12月9日(日)、15日(土)、22日(土)
- 最少催行人員 30名 ●添乗員 同行いたします。
- 食事 昼1回(さかゑや)
- 利用バス会社 中国JRバス

●行程

日次	スケジュール	食事								
1	広島駅新幹線口(8:00発)===== <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;">かに漁解禁後は毎日境港市場へ出かけ、上質なカニを仕入れて提供 境港「さかゑや」/境港水揚げの焼きカニ料理</td> <td style="width:50%; text-align: center;">=====</td> </tr> <tr> <td>漁港直近の市場で数十件の直売所が並び威勢のいい声が飛び交います 境港水産直売センター/お買物</td> <td style="text-align: center;">=====</td> </tr> <tr> <td>特別展の他、常設展示逸品ぞろい。日本庭園は世界的にも評価が高い</td> <td style="text-align: center;">=====</td> </tr> <tr> <td>足立美術館/特別展 <12/1-2/28> 冬季特別展 「生誕135年孤高の画家 橋本関雪」</td> <td style="text-align: center;">=====</td> </tr> </table> 広島駅新幹線口(19:00)	かに漁解禁後は毎日境港市場へ出かけ、上質なカニを仕入れて提供 境港「さかゑや」/境港水揚げの焼きカニ料理	=====	漁港直近の市場で数十件の直売所が並び威勢のいい声が飛び交います 境港水産直売センター/お買物	=====	特別展の他、常設展示逸品ぞろい。日本庭園は世界的にも評価が高い	=====	足立美術館/特別展 <12/1-2/28> 冬季特別展 「生誕135年孤高の画家 橋本関雪」	=====	昼:さかゑや
かに漁解禁後は毎日境港市場へ出かけ、上質なカニを仕入れて提供 境港「さかゑや」/境港水揚げの焼きカニ料理	=====									
漁港直近の市場で数十件の直売所が並び威勢のいい声が飛び交います 境港水産直売センター/お買物	=====									
特別展の他、常設展示逸品ぞろい。日本庭園は世界的にも評価が高い	=====									
足立美術館/特別展 <12/1-2/28> 冬季特別展 「生誕135年孤高の画家 橋本関雪」	=====									

- 詳しくは下記申込先までお問い合わせください。
 ●申込先 ひろでん中国新聞旅行 ☎082-543-2020 担当者:黒岩

プレミアムバスで行く 唐戸市場と門司港レトロタウン満喫 (限定24名募集)本場下関ふく料理~春帆楼~

- 旅行費用 **ダブル料金**
- 会員 **12,500円** (一般料金 15,000円)
- 同居家族 (小学生以上) **13,500円** (一般料金 15,000円)
- 同居家族 (幼児) **無料** ※食事・バス席はありません
- 出発日 12月14日(金)、24日(月・祝)、25日(火)
- 最少催行人員 18名
- 添乗員 同行いたします。
- 食事 昼1回(春帆楼)
- 利用バス会社 中国ジェイアールバス (プレミアム24)

●行程

日次	スケジュール	食事
1	広島県に1台しかない豪華バス、プレミアムバスで行く日帰り旅行。1日24名限定募集です! 広々3列、本革のしっとりとした手触りと二重構造のクッションシートでらくらく移動。高級感あふれるインテリア、化粧室(様式トイレ・洗面台)、手摺など備わった最上級グレードのバスで巡る旅です。	
1	広島駅新幹線口====アストラムライン古市駅==== 8:00 8:20 ①唐戸市場====②下関 春帆楼(食事)====	昼
1	③門司港レトロタウン散策====アストラムライン古市駅====広島駅新幹線口 18:10 18:30	

- ①唐戸市場はふくの市場としてはもちろんのこと、タイやハマチの市場としても有名。歳末のお買物に開門の台所と呼ばれる唐戸市場へご案内。
 ②本場下関のふくを、日本のふく料理公認第一号の老舗ふく料理店「春帆楼」にてご賞味下さい。
 ③下関からほど近い門司港レトロタウンは歴史ある町。レトロな雰囲気や街並みや建築物の見学のほか、九州の名産品のお買物をお楽しみ頂けます。

新年皇居一般参賀 東京2大タワーと東京名所めぐり 東京タワー・東京スカイツリー・柴又帝釈天初詣

- 旅行費用 **ダブル料金**
- 会員 **85,500円** (一般料金 88,000円)
- 同居家族 (中学生以上) **86,500円** (一般料金 88,000円)
- 同居家族 (6~11歳小学生) **84,500円** (一般料金 86,000円)
- 同居家族 (2~5歳未就学児) **58,500円** (一般料金 60,000円) ※座席のみ提供
- 同居家族 (2歳未満) **無料** ※座席なし・添い寝
- ※上記料金は、お一人様、2~3名1室利用の場合です。1名1室は4,000円追加です。
- 出発日 2019年1月1日(火)
- 最少催行人員 30名 ●添乗員 同行いたします。
- 食事 朝1回、昼1回、夕1回
- 利用バス会社 ニッコー観光バス
- 詳しくは下記申込先までお問い合わせください。
 ●申込先 ひろでん中国新聞旅行 ☎082-543-2020 担当者:黒岩

●行程

日次	スケジュール	食事
1	JAL254 広島駅空港 =====羽田空港-----築地-----柴又帝釈天・題経寺初詣----- 9:20 10:35 (車窓:国会議事堂 赤坂離宮迎賓館等)-----東京タワー-----レインボーブリッジ----- 東京ベイ有明ワシントンホテル(泊) 16:40	朝:一 昼:にぎり寿司セット 夕:和洋バイキング
2	ホテル-----レインボーブリッジ-----新年 皇居一般参賀-----東京スカイツリー----- 8:30 ソラマチ-----羽田空港=====広島空港 17:30 19:00 JAL265	朝:バイキング 昼:自由食 夕:一

- おすすめポイント
- ・新年皇居一般参賀とは1月2日に天皇皇后両陛下が、おあむね5回長和殿ペランダにお出ましになる予定です。2回目までは皇太子同妃両陛下もお出ましになる。成年の皇族方が、3回目以降は皇太子同妃両陛下、秋篠宮同妃両陛下、眞子内親王陛下及び佳子内親王陛下が、ご一緒にお出ましになる予定です。
 - ・通常は入れない、皇居正門(重橋)より入り、皇族方のお出ましを見学します。
 - ・東京の2大タワー・東京スカイツリーと東京タワーの展望台に上がります。
 - ・東京スカイツリー(634m)は東京の新名所。高さ350mに位置する展望デッキに上がります。東京ソラマチなどで自由にお過ごしいただけます。
 - ・東京タワー(333m)は東京のシンボル・観光名所。高さ150mに位置する大展望台から見学※リニューアル工事中の為、一部見て頂けない部分もあります。)
 - ・映画「男はつらいよ」の寅さんと御馴染みの葛飾柴又、帝釈天への初詣。「不老不死の寺」とも呼ばれる帝釈天へのお参りです。